

愛媛県歴史文化博物館 中期運営計画の進捗状況

事業項目	1 資料の収集・整理・保存
------	---------------

運営計画の事業実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスのとれた、幅広い分野の資料を継続的に収集する。ただし、本県の特徴を顕著に示すテーマに関する資料及び四国遍路に関する資料については、関連資料を含めて集中的な収集を図る。</li> <li>・資料収集は、寄贈、寄託及び購入により行う。</li> <li>・収集した資料は、分類整理し、資料台帳に登録するとともに、整理の完了した資料については資料目録として発行する。</li> <li>（また）展示等で随時県民に公開するとともに、特別利用や資料貸出しなどを通じ、多様なニーズに応えられるように努める。</li> <li>・総合的有害生物管理(IPM)の考え方にに基づき、日常的な温湿度・光量を管理して虫菌害の予防措置をとるとともに、燻蒸などの防除対策を講じる。</li> <li>・収蔵資料のうち破損するなど状態が悪いものについては補修を施す。</li> </ul>
-------------	--

事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民からの寄贈・寄託を中心に、購入も加えて博物館資料の収集を推進している。28年度は「弘法大師空海関係資料」「六国史関係資料」の2件を購入した。</li> <li>・収集した資料については、順次整理を進めており、28年度は、資料目録第25集「久万高原町上黒岩岩陰遺跡出土遺物」を作成・刊行した。29年度は、四国遍路関係の資料目録を作成予定。</li> <li>・当館収蔵資料の主なもの145件の画像及び解説文の情報を、文化庁が運営する「文化遺産オンライン」に登録し、当館ホームページからもリンクをはった。</li> <li>・年に1回、収蔵室の燻蒸を順番に行うほか、必要に応じ燻蒸庫での燻蒸を実施するとともに、虫害モニタリング調査を実施している。</li> </ul>							
	活動指標	21～24平均	25実績	26実績	27実績	28実績	29計画	摘要
	資料の寄贈・寄託・移管件数	29件	26件	26件	48件	44件		
	資料の購入件数	3件	1件	1件	3件	2件		
	資料目録の発行冊数	1冊/年	1冊/年	1冊/年	1冊/年	1冊/年	1冊/年	目標1冊/年
	インターネット公開資料件数	—	—	—	—	145件		※新指標
	資料の利用件数(特別利用・貸出)	95件	83件	127件	110件	110件		※普及から移動
	資料の燻蒸件数	収蔵室1回 燻蒸庫2回	収蔵室1回 燻蒸庫2回	収蔵室1回 燻蒸庫1回	収蔵室1回 燻蒸庫2回	収蔵室1回 燻蒸庫2回	収蔵室1回 燻蒸庫2回	収蔵室:年1回 燻蒸庫2回程度
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の収集・整理・保存とも概ね順調。</li> <li>・収蔵資料の主なもの145件をインターネット上で閲覧できるようにした。(昨年の博物館協議会の意見)</li> </ul>							
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の整理を、目標を定めて確実に進めていく必要。</li> <li>・収蔵資料のインターネット公開・データベース化を引き続き進めていく。</li> </ul>							

愛媛県歴史文化博物館 中期運営計画の進捗状況

事業項目	2 調査研究
------	--------

運営計画の事業実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学芸員が、その専門分野ごとに意義のある調査研究テーマを設定し、継続的に研究を行う。</li> <li>・収蔵資料の内容に関する学術的な調査研究のみに止まらず、保管・展示・教育普及等に関する技術的な研究も実施する。また、県内外の研究者との交流を行いつつ、館外の関連資料も幅広く調査する。</li> <li>・調査研究の成果については、展示や各種講座、学校をはじめとした館外の講演などを通じて、広く県民に公開・還元するとともに、研究成果報告書(研究紀要)の発行や博物館ホームページでの公開により、県内外の施設及び研究機関・研究者等の利用に供する。</li> </ul>
-------------	---

事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究した内容を企画展、テーマ展で発表するとともに、歴史文化講座や学校等への出前講座で活用した。</li> <li>・28年度は『研究紀要』第22号を刊行した。29年度も作成中。</li> <li>・要請に応じて、学術誌等に学芸員が原稿を執筆した。また、調査研究成果を発表する企画展示の場合は、新聞に特集記事を連載してもらっている。</li> </ul>							
	活動指標	21～24平均	25実績	26実績	27実績	28実績	29計画	摘要
	調査研究件数	16件	20件	21件	24件	23件		
	研究報告数(研究紀要)	4本	4本	4本	6本	5本	6本	2年に1回は報告
	刊行物等への発表件数	37件	38件	41件	35件	49件		
事業評価	各学芸員が調査研究に取り組み、その成果を展示や講座で活用しており、概ね順調。							
改善目標	『研究紀要』を引き続き年1回発行するとともに、調査研究成果の発表の場を増やしていく。							

愛媛県歴史文化博物館 中期運営計画の進捗状況

事業項目	3 展示
------	------

運営計画の事業実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示については、展示内容、展示手法を適宜見直して、部分的な展示替えを定期的実施することとし、リピーターにも楽しめる内容となるよう努める。</li> <li>・平成24年度に開設した新常設展「密●空と海」は、愛媛県を中心とする四国産の和紙を使って空海の生涯を表現した総合芸術作品であり、普及PRに努める。</li> <li>・特別展・企画展は、自主企画展のほか、他機関と連携し、県民にとって時宜を得た興味を喚起するテーマの巡回展も実施する。</li> <li>・展示内容について、図録の発行、展示解説や講座の実施などにより、観覧者の理解を深めるよう努める。</li> <li>・企画展の開催期間中はアンケート調査を実施し、その満足度や展示へのニーズを分析して今後の展示に反映させるようにする。</li> <li>・収蔵資料を活用した手作り型の展示も随時実施し、常設展示の補完を図る。</li> </ul>
-------------	---

事業の実施状況	<p>28年度の特別展は、「えひめ・いやしの南予博2016」の開催にあわせて、春「愛媛・お祭り博覧会」、夏「TRAIN WORLD」、秋「自転車ヒストリー」、早春「はに坊と行く！えひめの古墳探訪」と、学芸員の調査研究に基づく自主企画展が続き、集客面では若干苦戦したが、内容的には好評であった。</p> <p>また、文書展示室を使って「祭礼絵巻―描かれた南予の祭礼」、「南予の裂織」、「南予の戦国乱世」、「没後50年 永井刀専展―商業デザイナーの先駆者」おひなさま」、考古展示室では「発掘 南予の遺跡Part3」、さらに企画展示室での「松山城下図屏風」と、館蔵品を使用したテーマ展を開催し、学芸員の調査研究成果の発表の場となっている。</p>							
	活動指標	21～24平均	25実績	26実績	27実績	28実績	29計画	摘要
	常設展観覧者数	47,854人	35,869人	36,612人	37,652人	32,140人		
	常設展来館者満足度	91%	87%	93%	92%	89%		「よい」「まあまあよい」
	『密●空と海』観覧者数	(24.9～)15,591人	24,123人	25,753人	28,990人	26,906人		
	特別展・企画展開催回数	4回	4回	4回	4回	4回	4回	
	特別展・企画展観覧者数	40,405人	28,415人	32,040人	33,412人	27,877人		
	特別展来館者満足度	88%	76%	88%	90%	76%		「大変よい」「よい」
	展示図録の作製	1～2冊	2冊	3冊	2冊	2冊	2冊	
	テーマ展開催回数	6回	5回	3回	4回	8回	8回	
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回の特別展、文書展示室・考古展示室等を使ったテーマ展の開催が定着し、集客も概ね順調。</li> <li>・満足度については、アンケートのサンプル数が少ないのが問題。</li> </ul>							
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春と夏の特別展は、家族で楽しんでもらえるような内容にして集客を狙うとともに、学芸員の調査研究に基づく自主企画展の充実を図る。</li> <li>・アンケートについては、29年度から記入・回収場所も変更したが、より多くの回答が得られるよう更に改善していく必要がある。</li> </ul>							

愛媛県歴史文化博物館 中期運営計画の進捗状況

事業項目	4 普及啓発
------	--------

運営計画の事業実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛の歴史文化に関する講座、参加体験活動を伴う講座を実施する。</li> <li>・愛媛の歴史文化に関する理解を増進するテーマの講演会を実施する。</li> <li>・こども歴史館においては、児童・生徒が五感を使いながら伝統的な歴史文化に触れることができる体験空間づくりに努める。</li> <li>・学校団体等に対し博物館の情報を随時提供するとともに、「学習ノート」をホームページ等で配布し、積極的な来館利用を図る。</li> <li>・学校や社会教育施設の要望に応じて、出前講座、授業補助、資料貸出、職員研修を実施する。</li> <li>・要望に応じて、来館学校団体の児童・生徒・引率教諭を対象とした、親しみやすい学習プログラムを実施し、来館できない学校団体へは、体験型学習キット「れきハコ」の貸出等を行う。</li> <li>・指定管理者による自主事業等、県民に親しまれるイベントを開催する。特に子ども向けのイベントや講座を積極的に実施し、子どもたちの学びと体験の場の設定や子育て支援に努める。</li> <li>・博物館ホームページを一層充実させるとともに、各種の広報媒体を関係諸機関・団体に適切に配布するなど、情報発信機能を強化する。</li> </ul>
-------------	--

事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史講座、古文書講座、考古講座、民俗講座、体験講座を、特別展などとも関連づけながら開催するほか、28年度に初めて「大分・愛媛交流講座」を開始した。</li> <li>・指定管理者サイドでGW、夏休みなど季節ごとにイベントを実施するとともに、こども歴史館やエントランスを利用して子ども向けワークショップを、土・日・祝日に開催している。</li> <li>・学校に対して、博物館の利用を様々な機会をとらえて呼びかけるとともに、「教員のための博物館の日」事業を、28年度に初めて開催した。</li> </ul>							
	活動指標	21～24平均	25実績	26実績	27実績	28実績	29計画	摘要
	講座講演会開催回数	32回	32回	40回	37回	30回	34回	
	講座講演会参加者数	928人	973人	1,182人	1,041人	760人		
	講座等参加者の満足度	84%	73%	77%	90%	82%		「満足」
	こども歴史館入室者数	7,834人	4,889人	4,270人	5,199人	3,620人		28.9～11「弱虫ペダル」展
	イベント参加者数	17,747人	13,284人	14,537人	10,421人	18,255人		
	来館学校数・生徒数	79校 5,447人	75校 4,072人	67校 4,481人	67校 3,873人	83校 4,378人		
	「教員のための博物館の日」開催回数	—	—	—	—	1回	1回	
	「出前授業」派遣件数	2件	3件	2件	11件	11件		
	講師等派遣件数	全52件	全70件	全65件	全83件	全70件		
	「れきハコ」貸出件数(うち学校)	14件 うち7件	10件 うち6件	18件 うち8件	16件 うち4件	8件 うち5件		
	「歴博だより」の発行	年4回	4回	4回	4回	4回	4回	
	館ホームページアクセス件数	97,032件	124,324件	138,374件	121,534件	108,093件		
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化講座については楽しみにしている人も多く概ね順調。</li> <li>・子ども向けのイベントやワークショップは定着してきて、歴博に行けば何かやっているという認識が広まりつつある。</li> <li>・学校利用についても、28年度は利用校数が増加し、呼びかけの成果が多少現れたのではないと思われる。</li> </ul>							
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化講座については、引き続き県民が興味をひくテーマを選定し、充実を図る。</li> <li>・子ども向けのワークショップやイベントについても、さらに充実を図る。</li> <li>・学校利用については、「教員のための博物館の日」事業を継続するとともに、さらに利用を働きかけていく。</li> </ul>							

愛媛県歴史文化博物館 中期運営計画の進捗状況

事業項目	5 県民参加の推進・ネットワーク
------	------------------

運営計画の事業実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の博物館活動への参画と来館者サービスの向上を目的に、展示解説ボランティアや図書・資料整理ボランティア、普及啓発事業ボランティア等の活動を推進する。</li> <li>・「博物館友の会」は、当博物館を積極的に利用して愛媛の歴史や民俗に親しむとともに、会員相互の親睦を深めることを目的に組織された団体であり、同会の活動を積極的に支援する。</li> <li>・学校団体が実施する博物館実習、職場体験、インターンシップ等については、要望に応じて受け入れを行う。</li> <li>・県内の博物館・資料館をはじめ、大学・社会教育機関・関係団体等との交流・連携に努めるとともに、県外の博物館との情報交換や共同企画の実施の検討等、広域連携を図る。</li> <li>・市町・団体等の依頼に応じ、撮影・燻蒸・保存処理等の博物館附属設備の利用機会を提供する。</li> <li>・国及び地方公共団体等、関係機関からの依頼に応じ、委員会等への協力、調査協力等を通じ、専門的事項に関する助言・協力を行う。</li> </ul>
-------------	---

事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアについては、綿から糸づくり体験や歴史衣装の着付けなどのイベントや資料の整理等で活躍してもらっている。</li> <li>・友の会については、現地学習会、研修旅行、クラブ活動などの事業を行っているが、会員の高齢化が進んでいる。</li> </ul>							
	活動指標	21～24平均	25実績	26実績	27実績	28実績	29計画	摘要
	ボランティア登録人数	39人	39人	40人	47人	43人		
	ボランティア活動延人数	347人	326人	310人	234人	193人		
	友の会会員数	354人・10団体	424人・8団体	392人・8団体	337人・7団体	338人・7団体		
	博物館実習の受入人数	2.5人	6人	3人	1人	2人	3人	
	市町等協力件数	4件	6件	7件	5件	8件		
事業評価	友の会の遞減傾向が気になるが、県内の市町や大学・関係団体、県内外の博物館等とのネットワークについては概ね良好。							
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友の会については、加入のメリットをどう打ち出せるか、さらに研究の余地がある。</li> <li>・地域との連携について、29年7月から宇和文化の里施設との相互割引を始めたが、他市町などとも、さらに連携を進めていく必要がある。</li> </ul>							

愛媛県歴史文化博物館 中期運営計画の進捗状況

事業項目	6 生涯学習の支援、施設の提供							
運営計画の事業実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛県生涯学習センターが「コミュニティ・カレッジ」を歴史文化博物館で開催する場合、その支援に努める。</li> <li>・無料開放の図書室については、引き続き図書・ビデオを無料で閲覧に供し、県民の生涯学習活動を支援する。</li> <li>・県民の歴史に関する学習活動に資するため、学芸員が相談に応じる。</li> <li>・研修室、多目的ホールについては有料で提供しており、引き続き県民の利用促進を図る。</li> <li>・エントランスホールについては、利用者の交流の場として積極的に活用を図る。</li> </ul>							
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「南予コミュニティ・カレッジ」の会場として、県生涯学習センターに協力している。</li> <li>・歴史や民俗などに関する図書9000冊余りと、主に小中学生向けの学習用ビデオテープを所蔵し、静かに利用できる空間づくりに努めている。</li> <li>・多目的ホールや研修室などについては、広く県民の利用促進に努めている。</li> </ul>							
	活動指標	21～24平均	25実績	26実績	27実績	28実績	29計画	摘要
	コミュニティ・カレッジ講座開催回数	17回	19回	21回	21回	19回	回	
	コミュニティ・カレッジ参加者数	202人	233人	195人	245人	259人	人	
	図書室利用人数	7,401人	6,360人	5,411人	5,134人	4,976人	人	
	所蔵図書数	(24年度末)9,601冊	9,660冊	9,697冊	9,745冊	9,730冊	冊	
	学芸員が相談に応じた件数	286件	354件	384件	163件	143件	件	生涯学習課報告データ
	貸館利用者数	29,915人	24,683人	22,031人	20,476人	21,721人	人	
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「南予地域における生涯学習の推進拠点」としての位置づけは弱まっており、現在は会場を貸している程度。</li> <li>・図書室については、利用人数が減少傾向にあり、もう少し利用を図っていく必要がある。</li> <li>・貸館についても、平日の利用を中心に、もう少しPRに努める必要がある。</li> </ul>							
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室については、特別展にあわせて特設コーナーを設けるなど改善を図っているが、さらに県立図書館の協力も得て改善を進めていく。</li> <li>・貸館については、平日の利用を促進するとともに、貸館利用者が展示も観覧して帰ってもらうような仕掛けづくりも研究していく。</li> </ul>							